

薩摩義士「平田鞆負」の足跡をたどって

第2回県外子ども研修視察事業

宝暦治水事業を学ぶ

肝付町には、宝暦治水工事で総奉行を務めた平田鞆負が眠る墓地があります。

本町では平成23年度より治水工事の舞台となった岐阜県海津市に中学生を派遣し、平田鞆負を代表とする薩摩義士を祀る治水神社や木曾川治水工事の偉業を紹介する施設等を参拝・見学する事業を行っています。

第2回県外子ども研修視察事業には、中学1年生10名が参加しました。

8月7日から9日の3日間の研修視察を紹介します。

【8月7日(火)1日目】

肝付町役場に集合した生徒を代表して、高山中の福永美佳さんが研修に参加するに当たっての決意を発表した後、飛行機等を含めて愛知県名古屋市内へ向かいました。名古屋市内へ15時過ぎに到着、1日目は名古屋市内を散策して、宿泊しました。



①-1



①-2

生徒たちが姫路城、熊本城とともに日本三名城に数えられる名古屋城を見ようと散策に出かけると、城内で8月3日から15日までの2週間に渡り、第7回「名古屋城宵まつり」が開催中で、テーマ館で金の鯨など各種展示物等を見学して、名古屋の夏祭りの雰囲気も味わうことができました。

(写真①-1、①-2)



②-2

【8月8日(水)2日目】

名古屋市内を出発、岐阜県海津市に到着した生徒たちは「千本松原」を訪れ、宝暦治水史蹟保存会長の中西達治さんの案内で宝暦治水の史蹟を辿りました。

千本松原にある「近代治水百年記念碑」には、宝暦治水の平田鞆負と明治大改修のデ・レイケのレリーフがありました。

(写真②-1)

また、西田喜兵衛らの尽力で建てられた「宝暦治水の碑正碑」の裏には、宝暦治水の犠牲者の名前が刻んでありました。

(写真②-2)



②-1